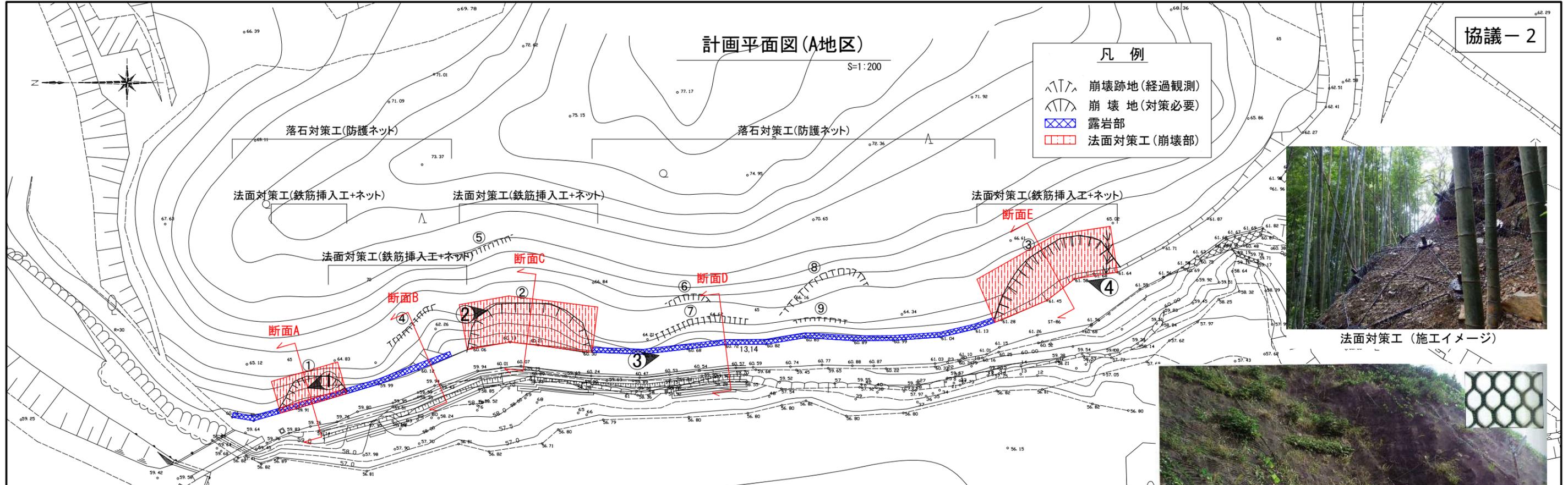


計画平面図(A地区)

S=1:200

凡例

- 崩壊跡地(経過観測)
- 崩壊地(対策必要)
- 露岩部
- 法面対策工(崩壊部)



法面対策工(施工イメージ)



落石対策工(施工イメージ)



現況写真①(崩壊地)



現況写真②(崩壊地)



現況写真③(露岩部)



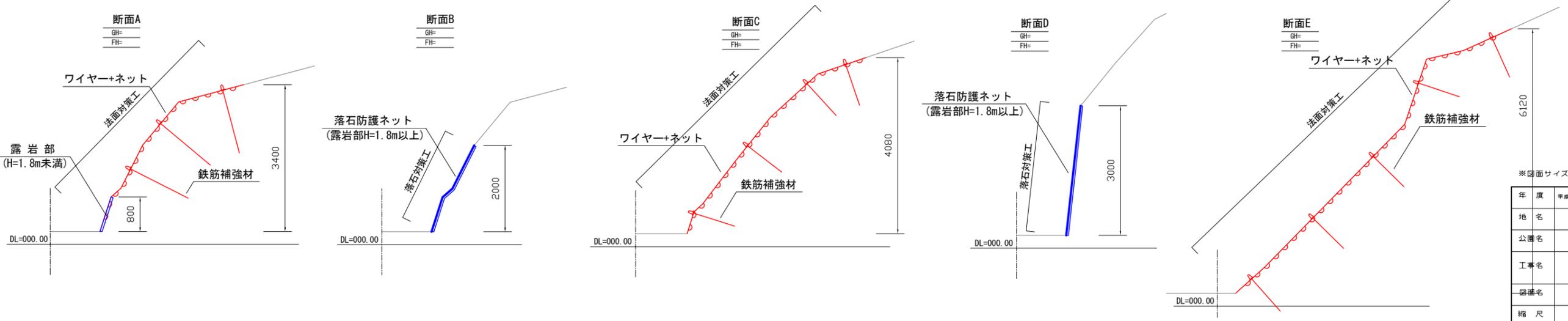
現況写真④(崩壊地)

落石対策工：切土法面の風化した露岩部における転石等が歩行の障害となるためH=1.8m以上の露岩部を対象に防護ネット(網目25mm)で覆うことにより落石を防止する工法とする。

法面対策工：切土法面の一部区間で堆積する土砂等の小規模な崩壊が発生しており、今後も同様の法面崩壊の発生が懸念されることから現地調査により確認された緊急性の高い範囲について対策を行う。対策工法としては、鉄筋挿入工により表層土砂の定着力を補強することにより法面の安定を図るものとする。

断面図

S=1:50

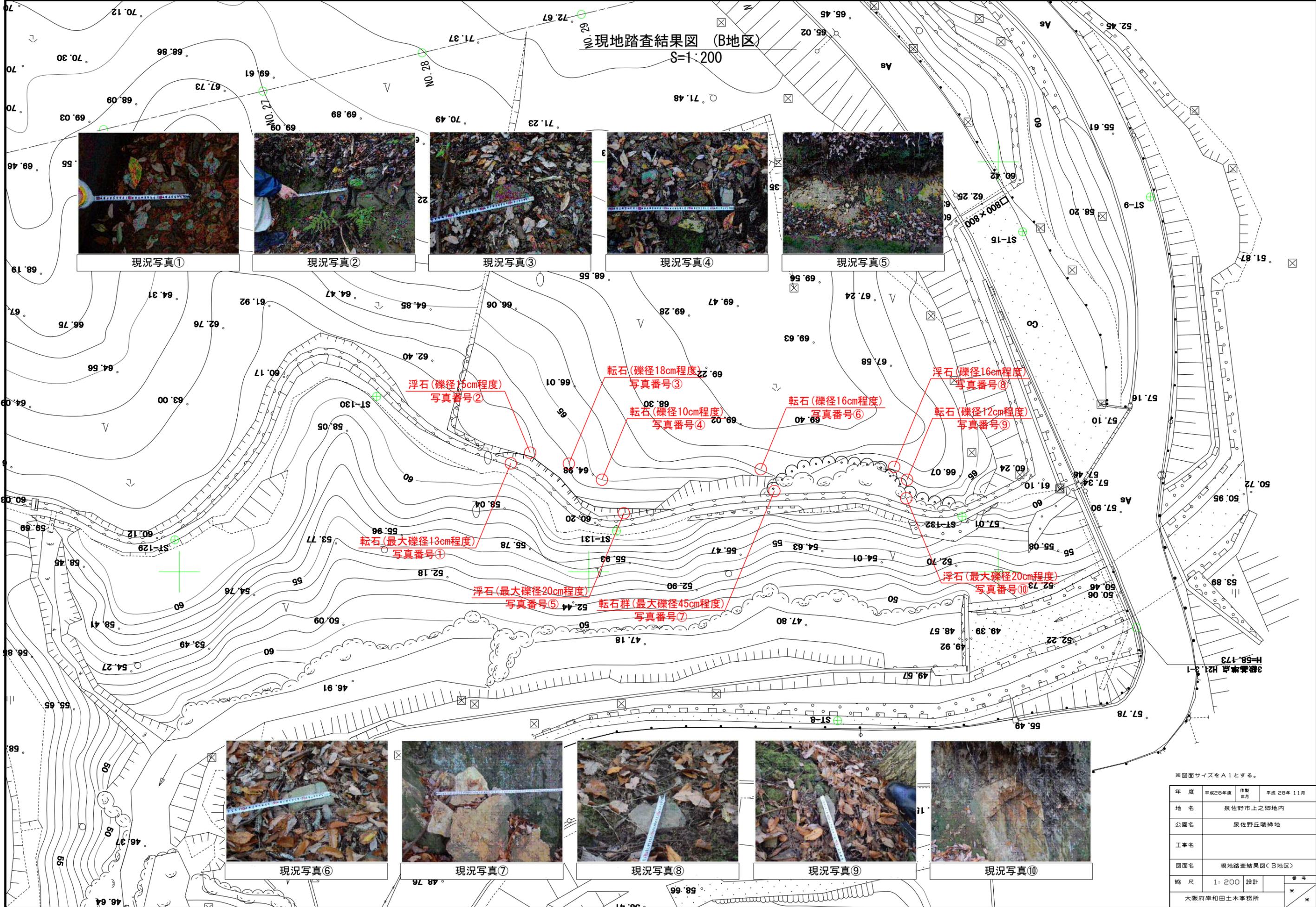


※図面サイズをA1とする。

年度	平成28年度	作製年月	平成28年12月
地名	泉佐野市上之郷地内		
公園名	泉佐野丘陵緑地		
工事名			
図面名	計画平面図(A地区)		
縮尺	1:200	設計	番号
大阪府岸和田土木事務所			*

現地踏査結果図 (B地区)

S=1:200



現況写真①



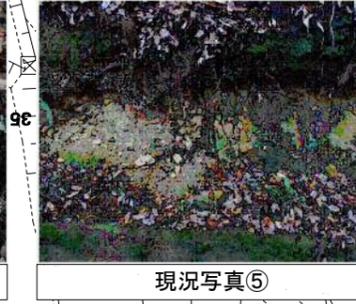
現況写真②



現況写真③



現況写真④



現況写真⑤



現況写真⑨



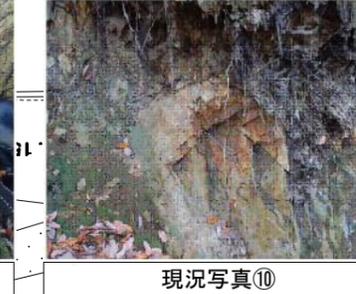
現況写真⑦



現況写真⑧



現況写真⑥



現況写真⑩

※図面サイズを1とします。

年度	平成28年度	作製 年月	平成28年11月
地名	泉佐野市上之郷地区内		
公園名	泉佐野丘陵緑地		
工事名			
図面名	現地踏査結果図(B地区)		
縮尺	1:200	設計	
大阪府岸和田土木事務所			